

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第3期第8回相模原市中央区区民会議				
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802(直通)				
開催日時		平成28年5月24日(火) 18時00分~20時00分				
開催場所		相模原市役所第3委員会室				
出席者	委員	21人(別紙のとおり)				
	その他	0人(一般参加者)				
	事務局	15人(中央区長、副区長、他13人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	-
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		<p>開 会</p> <p>議 題 中央区区ビジョンの取組みと推進について</p> <p>(1) 中央区役所の主要事業について</p> <p>(2) 第3期相模原市中央区区民会議報告書 構成案について</p> <p>その他</p> <p>閉 会</p>				

主な内容は次のとおり。

( 会長の発言 委員の発言 区長の発言 事務局の発言 )

開 会

小山中央区長あいさつ

( 要旨 )

・皆様方には、防犯や交通安全、商業や観光など、さまざまな分野で御活躍いただき、感謝申し上げます。

・市では、地域住民にとって一番身近な区役所の機能を強化するための会議を庁内に設置し、本庁機能からの権限移譲に向けた準備を進めております。

・第3期においては、今回が8回目の区民会議となりますが、これまでいただいた貴重なご意見を生かしながら、今後も中央区の区ビジョンに掲げた将来像の実現に向けた取組みを進めていきたいと考えております。

井狩中央区区民会議会長あいさつ

( 要旨 )

・2度の区民参加型の会議を含め、第3期においては合計8回の区民会議を開催し、ここに2年の任期が終了しようとしております。委員の皆様のおかげ様をもちまして、会長職を務めることができました。心より感謝申し上げます。

・前回の会議では、11月に開催した拡大区民会議の振り返りとして、あらかじめご発言の内容をご準備いただいた上で会議に臨んでいただくなど、活発な議論を交わすことができたと思っています。

・本日は、第3期最後の区民会議として一つの節目を迎えますが、第4期に何をつないでいくかという視点に立って進行していきたいと思っております。

中央区区民会議会長の進行により、議事が進められた。

出席者は21人であり、会議の成立要件を満たしている旨、事務局より報告した。

傍聴希望者無し。

## 議 題

中央区区ビジョンの取組みと推進について

( 1 ) 中央区役所の主要事業について

事務局より、資料 1 中央区の主要事業について事務局より説明を行った。

～平成 27 年度の事業実績について～

地域活性化事業交付金の詳細な内容を教えて欲しい。5 月 29 日に報告会があると伺っているが、その場で説明があるのか。

お見込のとおり。

防災に関する補助事業も含まれるのか。

避難所運営協議会活動費補助金、自主防災組織活動補助金に該当するため、地域活性化事業交付金には含まれない。

乳幼児向けの粉ミルクや紙おむつ、高齢者向けの尿取りパットなどを自治会で備蓄していきたいが、自治会の防災倉庫の広さでは入らない。市として対策はあるか。

清新地区に救援物資集積・配送センターを建設し、本市が被災した場合の救援物資を受け入れる体制を整備するとともに、地域防災計画に基づき備蓄を進めている。有事の際は、市の備蓄や救援物資を避難所へ配送する体制となっている。

地区別の防災計画を策定したことは、とてもすばらしい成果である。

「防犯・交通支援マイスター創設の検討」とあるが、防犯指導員、交通安全指導員とは別に、防災マイスター制度のようなものを創設しようということか。

当初は、そのような制度も視野に入れながら考えていこうという目標設定であったが、結果として創設しない結論となった。

意見であるが、交通事故防止や禁煙区域の指導については、監視員を置く必要がある。

観光協会の立場で発言する。新しい中央区ガイドマップについては、地域のお店の紹介などが掲載されており感謝している。そこで、2 つ質問がある。一つ目は、区制施行 5 周年事業で行っているため、次回はしばらく先の発行となるのか、二つ目は、英語、中国語、韓国語など、海外からの観光客向けのものを作る考えがあるか伺う。

今回のような大規模なリニューアルは費用がかかるため、増刷の中でマイナーチェンジをしていく予定である。また、多言語については、必要性を認識しているので、今後の

状況をみながら検討する。

資料については、区ビジョンの基本方針と突合しやすく編集されたい。

～平成28年度 当初予算の概要について～

対前年比で22%の減額理由について伺う。

減額の主要因は、これまで自治会が維持管理をしていた防犯灯の大半について、市がE S C O事業として直接、業者が維持管理を行うこととなったため、維持管理にかかる補助金が減額されたためである。

要望事項であるが、平成29年度においては、国の交通政策審議会で小田急多摩線の上溝延伸が意義あるプロジェクトとして選定されたので、相模原駅から上溝駅の将来像がわかるDVDを作成し、まちづくり会議や自治会、老人会等で上映して、将来に夢を与えて欲しい。

(2) 第3期相模原市中央区区民会議報告書 構成案について

事務局より資料2 「第3期 相模原市中央区区民会議報告書 構成案」について説明を行った。

第3期の区民会議の大きな取組みとして、2回の拡大区民会議の開催である。特に平成27年度においては、多くの参加者が区民会議委員と意見交換ができる分科会を開催したことが大きな特徴であった。

前回の区民会議においては、ワークシートを事前に用意し、拡大区民会議の振り返りをしていただき、その議論のまとめが23ページから26ページで整理させている。

全体構成は概ね完成しているので、各回の区民会議の議論のまとめである平成26年度の11、12ページ、平成27年度の23ページから26ページを中心にご意見をいただきたい。

～平成26年度拡大区民会議について～

11ページの自治会加入促進については、よくまとまっており、特につけ加えること

はない。現在の課題は、新規加入と中途退会である。

新規加入については、不動産関係団体との連携体制が非常に効果があった。不動産業者からあらかじめ入居者に自治会加入について説明してあるため、自治会役員が訪問するとスムーズに加入している。

中途退会する高齢世帯については、具体的な解決策が無く、非常に苦慮している。

また、市職員の自治会加入については、市側がしっかり取り組むべきである。

公民館活動を通じた地域のつながりについては、とてもよくまとまっている。

～平成27年度拡大区民会議 第1分科会について～

第1分科会のコーディネータを担当した者である。

まとめとなっている17ページの記載がとても重要である。私たち区民会議委員がしっかりと受けとめて、地域の若者を育てていかなければ実際には世代交代がなされないと思う。

担い手である我々が次の世代のサポートに回るということがとても重要であると強く感じたので、その点を今後の課題にしていきたい。

まず、商店街活動について発言すると、半分は地域貢献だと思っている。

次に、若者世代をどう取り込むかについて区民会議においても議論をしてきたところであるが、ここでエピソードを一つ紹介したい。

地域のソフトボール大会に久しぶりに顔を出したが、約90%が若い世代の参加者であった。義務的なものでは実現していないはずであり、その様子がとても勉強になった。

商店街も同じように、できるだけ自然に若返る方向へ持っていきたい。

第1分科会に参加したことで、若い世代の考え方を導入していこう、イベント関係に若い人が出られる体制を作ろう、子ども連れの役員の場合、別室で子どもを預かるといった取組みを進めている。

～平成27年度拡大区民会議 第2分科会について～

商店街が中心となって、地域振興を目的に淵野辺駅周辺の3大学を包括した「ふちのべ大学」を発足させたので、今後の取組みに注目して欲しい。

第2分科会のコーディネーターを担当した者である。

地域とのかかわり合いについて学生が事例発表を行ったが、地域のイベントなどに参加することは、世代を超えて人間関係を構築できるため非常に有益だということを実感していた。

一方、実際に参加しようとなると、学業や学校活動との両立、市外から通学している場合の交通費といった負担が大変である現状を把握することができた。

和泉短期大学においては、ボランティア認定制度を通じて、積極的に地域活動に参加するきっかけができた。福祉系の大学であることも関係すると思うが、地域で活動することが以前より身近になっている。

大野北地区では、5月30日に青山学院大学の学生と自治会が共同して地域清掃を行う予定である。毎年多くの学生が集まっている。また、先ほど「ふちのべ大学」の話があったが、各大学で実行委員となる学生が集まり始めており、今後の活動に期待している。

新たな動きについて御報告いただき感謝する。

～平成27年度拡大区民会議 第3分科会について～

第3分科会のコーディネーターを担当した者である。

「PTAや子ども会の役員を終えた人が、公民館や自治会活動などの次のステップへの活躍のフィールドを広げてもらうための活動を、現在の担い手が行う必要がある。」という参加者からの意見は、とても重要である。

直接的な楽しさが進化されて達成感へ変化していくと書いてあるが、その点を進めていくと、地域活動の継続性や次のフィールドにつながっていくと思われる。

当日参加した複数のPTA役員が生き生きと語っている様子がうれしく、地域活動へ参加することで、今後の活動の広がりにつながることを期待できた。

また、地域活動の活性化のための橋渡しについて、PTAの役員だった人の子どもたちが成人すると、PTAや地域活動に参加する親の背中を見て育っており、地域のイベントに積極的に参加し、活躍している。

そのような形で次の世代にバトンを渡していくというのも重要である。

私の所属する自治会は役員が12人しかいないが、そのうち3人は、子どもが生まれたばかり、子どもが小さい、夜勤があるという人であったので、自治会の定例会議を日曜日

の午前中に実施している。

24ページにおいて、「できる範囲のことをお願いする」と書かれているが、可能な限りライフスタイルに皆があわせることが重要である。

会議の開催日を例にしたが、「今まではこうだった」というものを無くしていけば、若い世代が参加しやすくなり、皆で力を合わせようという運営ができれば地域が活発になる。

～全体を通じて～

第1期から第3期までの取組みに関する記載が1ページにあるが、第4期へ引き継ぐにあたり、その流れがわかるフローを掲載した方がよい。また、平成26年度の拡大区民会議を受けて、平成27年度のテーマが選定された旨のつながりを記載すべきである。

第3期の取組みの中心は2回の拡大区民会議であるが、「区民や地域の連携」や「若い世代の地域活動」のテーマを中心に議論を重ねたことを前面に出さないと、例えば高齢者がこの報告書を読んだときに、我々世代について議論がされていないと感じるのではないか。

本日の意見を踏まえ、編集作業を行う。校了については、副会長と私に一任いただきたい。

(「異議なし」の声)

ご異議無しということで、事務局と編集作業を進めることとする。

その他

委員からの意見

要望事項であるが、第4期において各団体から委員を推薦する際は、男女共同参画の視点からも積極的に女性を推薦されるよう配慮されたい。

また、第4期から新たに委員へなられる人を対象に、区民会議に関するオリエンテーションを実施することを検討されたい。

## 事務局から連絡事項

第3期区民会議の感想や意見などがあれば、事務局までお願いしたい。また、「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト」の活動について、定期的に区民会議へ報告を行っており、今後の方向性などについては、プロジェクトの実行委員会や役員会で議論して決定しているところであるが、こちらについても感想や意見があれば事務局までお願いしたい。

## 閉 会

田所中央区区民会議副会長あいさつ

### (要旨)

- ・報告書については、過去の経過を含めた関連性、第4期につながる構成とする旨の意見が寄せられたので、事務局と構成を考えていきたい。
- ・保護者の団体について、幼稚園や保育園、子ども会、小学校、中学校と同じ人が継続していく傾向があり、会長、副会長といった人の情報は持っているが、その他の役割を担っている人の情報を持っておらず、地域の中で新たな担い手を探すことに苦労している点について、反省しなければならないと思っています。
- ・担い手の側が、地域活動による具体的な成果を積極的に情報発信しなければ、参加する人は増えていかない。そのような意味においても、第3期の報告書をまとめ、第4期につながるようにしていきたい。
- ・事務局からもあったが、第3期区民会議に関する意見があれば、できるだけ早くご意見をいただきたい。
- ・第3期は本日で終了であるが、第4期に向けてよりよい区民会議に、そして、まちづくり会議と区民会議とのつながりを整理しなければならないと感じている。

以 上



第3期第8回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	井狩 芳子	学識経験者（和泉短期大学）	会長	出席
2	石井 トシ子	相模原市公民館連絡協議会中央区ブロック		出席
3	井上 政市	相模原交通安全協会		出席
4	浦上 裕史	一般社団法人相模原市観光協会		出席
5	河本 博	大野北地区まちづくり会議		出席
6	木内 哲也	一般社団法人相模原市医師会		欠席
7	木村 清	横山地区まちづくり会議		欠席
8	坂本 洋三	相模原市地区社会福祉協議会連絡協議会中央区連絡会		出席
9	佐々木 亮一	公益社団法人相模原青年会議所		欠席
10	清水 洋子	相模原市私立保育園園長会		出席
11	代田 昭	中央地区まちづくり会議		出席
12	関戸 丈夫	田名地区まちづくり会議		出席
13	武井 弘吉	小山地区まちづくり会議		出席
14	竹田 幹夫	星が丘地区まちづくり会議		出席
15	田代 明寛	清新地区まちづくり会議		出席
16	田所 昌訓	相模原市自治会連合会	副会長	出席
17	千葉 更男	公募委員		出席
18	永井 廣子	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
19	中西 豊和	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
20	長谷川 光義	上溝地区まちづくり会議		欠席
21	久松 伸	学識経験者（麻布大学）		出席
22	平林 清	光が丘地区まちづくり会議		出席
23	本郷 永子	公募委員		出席
24	宮津 敏信	公募委員		出席
25	横山 房男	相模原商工会議所		出席